

古橋宜昌の EX プランニング実践塾 第7回

■ 前回の課題の確認

まず始めに前回の課題の敷地条件及び施主の要望について確認しておきましょう。
敷地条件は東側に道路がある東入りで、道路と敷地の高低差は300mmでした。

主な施主の要望は

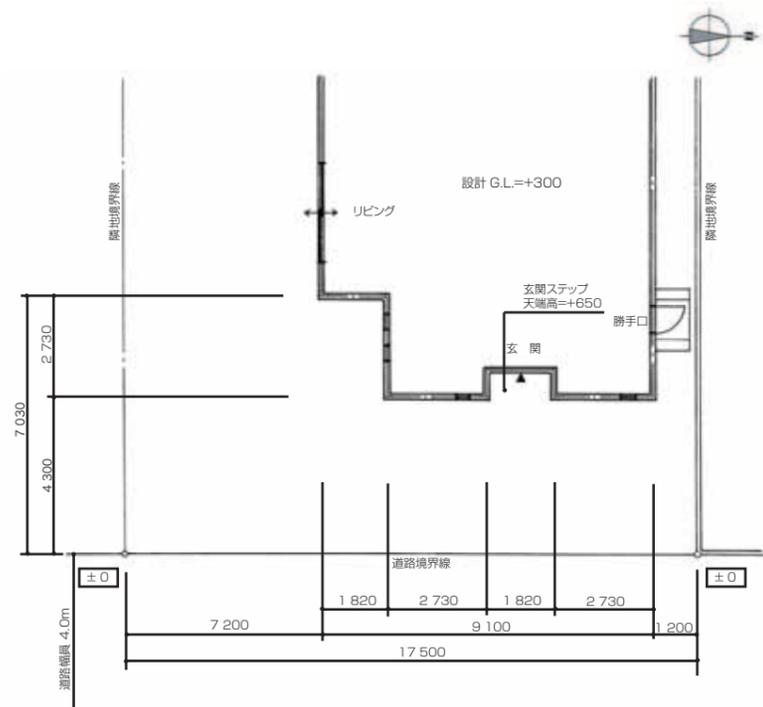
- ・クローズスタイル
- ・1台分の駐車スペース
- ・車イス用のスロープ
- ・物置が置けるサービスヤード

などでした。

スロープは駐車場から庭、そして玄関へとアクセス出来るように考えることがポイントでした。

みなさんはどのようなプランでまとめられましたか？

今回もまずはゾーニング図を使って基本的な考え方や、動線計画を解説していくことにしましょう。

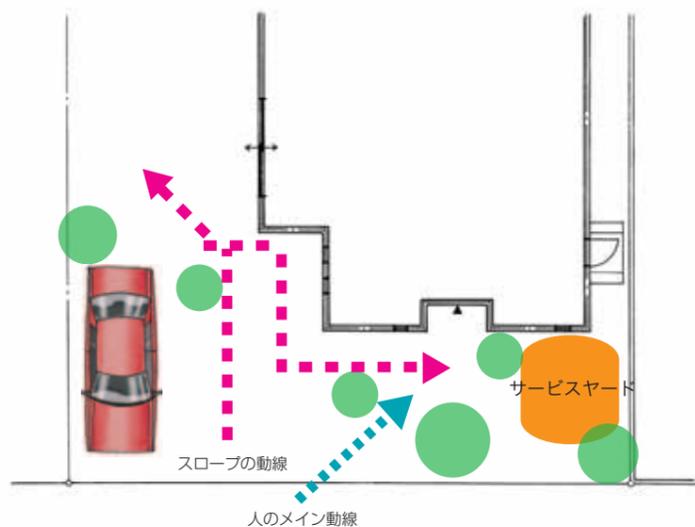


■ ゾーニング

車イス用のスロープは距離を稼ぐためにも駐車場から庭に向かってレイアウトし、再び道路方向へUターンさせ、建物に沿って玄関方向へと変形させることにします。

駐車場の横幅は通常よりも広めに計画し、車イスを横付け出来るようにします。スロープがU字やL字に曲がる部分は踊り場とし、床は水平にします。

一方、人のメイン動線はコンパクトにまとめ、門を道路に対して斜めに構えることで変化をつけてみましょう。



Furuhashi Norimasa



古橋 宜昌
ふるはし のりまさ

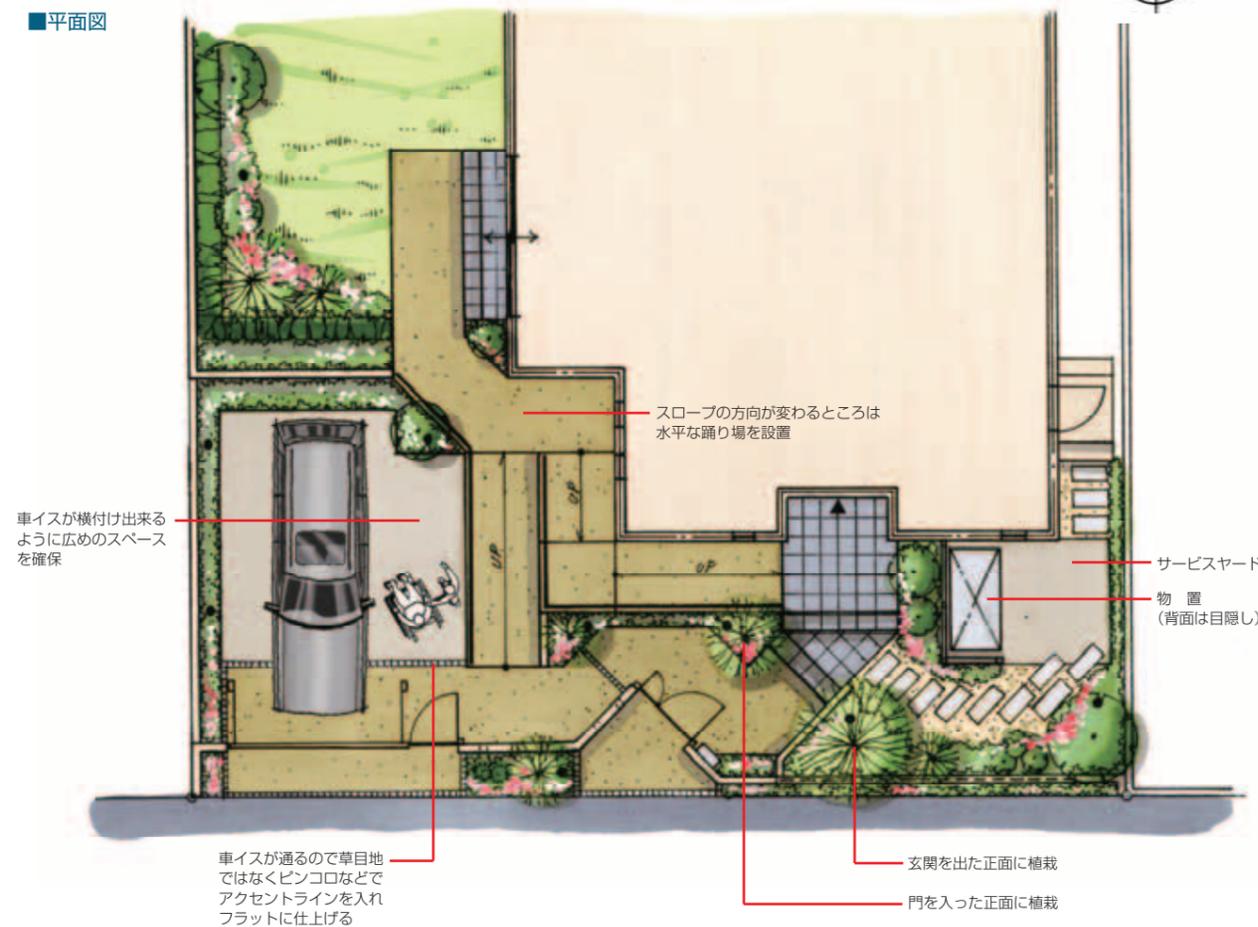
生年月日: 1958年4月6日
東京電機大学理工学部建設工学科卒。
有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校長・
一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。
JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員・大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、
1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。
個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。
ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。設計業務の傍ら専門学校や
英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>

■ 模範プラン

それではゾーニング図をもとに作成しました模範プランをご覧ください。
スロープの途中から動線を分岐させ、庭と玄関方向にアクセスできるようにした点がポイントです。

■ 平面図



■ 立面図



■ イメージパース



もちろん、このプランが正解という訳ではありませんので、あくまでもプランの一例としてご覧いただき自分で考えられたプランと比較して、各ゾーンのバランスや納まりなど、実邸を設計する際の参考にしてください。